

平成30年度
風水害夜間実動訓練

実施要領

(1) 訓練の目的

平成26年8月、広島市で発生した土砂災害を教訓として、大阪府と5市町が共同で府域の土砂災害危険箇所などにおいて、夜間の集中豪雨を想定した風水害訓練を実施します。

訓練を通して課題を抽出し、円滑で迅速な住民避難と的確な応急災害対策に繋がるよう改善を図るとともに、府民自らが身を守る行動の促進と防災意識の向上を図る。

(2) 実施日時

平成30年6月16日(土) 20:00~21:00

(3) 参加機関

大阪府：危機管理室

都市整備部 事業管理室

富田林土木事務所、鳳土木事務所、岸和田土木事務所

市町村：岸和田市、泉大津市、貝塚市、和泉市、河南町

消防：泉大津市消防本部、和泉市消防団第3分団、

警察：和泉警察署警備課、和泉警察署内田駐在所、和泉警察署南松尾駐在所

住民：当該市町の地域住民(予定者)

情報伝達訓練 約108,000人

避難訓練 約240人

(4) 訓練タイムスケジュール

13:00 大阪府に『大雨・洪水注意報』発表

17:00 大阪府に『大雨警報(土砂災害、浸水害)』及び『洪水警報』発表

19:30 『大雨に関する大阪府気象情報 第1号』発表

今後1時間に80ミリ程度の雨の予想

20:00 対象市町村に『土砂災害警戒情報』発表 ⇒ 「避難勧告」発令

訓練
想定

■訓練イメージ

① 市町村から住民に避難勧告の発令
(エリアメール/緊急連絡メール、防災行政無線等)



② 避難行動の実施(避難所への水平避難、垂直避難)



③ 市役所(災害対策本部)に避難者数の報告



④ 大阪府(災害対策本部)に避難者数の報告

21:00 訓練終了

(5) 訓練概要

ア) 大阪府と市町、防災関係機関との災害情報の伝達訓練

イ) 市町によるエリアメールや防災行政無線を活用した、避難勧告に基づく住民避難
(屋内での垂直避難も含む)

ウ) 市町村独自のアンケート調査等により検証

◆参加市町訓練概要一覧

地域		南河内地域	泉北地域		泉南地域	
市町村		河南町	和泉市	泉大津市	岸和田市	貝塚市
訓練概要		<ul style="list-style-type: none"> 町内全域の住民を対象とした情報伝達訓練 地区住民を対象とした垂直避難訓練 	<ul style="list-style-type: none"> 地区住民を対象とした水平避難訓練 『春木町自主防災組織』による炊き出し訓練 	<ul style="list-style-type: none"> 要配慮者利用施設における河川氾濫を想定した垂直避難訓練 消防職員による指導 市職員を対象とした情報伝達訓練 	<ul style="list-style-type: none"> 市職員を対象とした情報伝達訓練 	<ul style="list-style-type: none"> 市内全域の住民を対象とした情報伝達訓練
目的		<ul style="list-style-type: none"> 夜間に発生する恐れのある災害に対して、町民が避難勧告に対して命を守る行動を実行できるよう促進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 夜間の避難において、一時避難所までの避難経路の確認及び一時避難所での避難所運営の確認を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 河川の浸水想定区域内の施設における災害時の避難体制の確立を図る 市職員の初動体制の確認を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 災害時に迅速な情報伝達を行えるようにするとともに、防災・危機管理意識の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 夜間に発生する恐れのある災害に対し、市民が避難勧告に対して命を守る行動ができるよう促進を図る。
①	情報伝達訓練 (対象者)	<ul style="list-style-type: none"> 河南町民 約 1.6 万人 	<ul style="list-style-type: none"> 春木町地区住民 約 820 人 	<ul style="list-style-type: none"> 施設職員 10 名 市職員 826 人 	<ul style="list-style-type: none"> 市職員 250 人 	<ul style="list-style-type: none"> 貝塚市民 約 9 万人
	エリアメール／ 緊急速報メール の配信	有り	—	—	—	有り
②	避難訓練 (参加予定者)	<ul style="list-style-type: none"> ■垂直避難 ・5地域の町会役員 約 130 名 ・その他住民が自主的に実施 	<ul style="list-style-type: none"> □水平避難 ・住民 約 70 名 ・消防団 20 名 ・警察官 4 名 ・和泉市 7 名 	<ul style="list-style-type: none"> ■垂直避難 ・施設職員 10 名 	—	—

※垂直避難・・・切迫した状況において、屋内の2階以上に避難すること。屋内安全確保の1つ。

※水平避難・・・その場を立ち退き、近隣の少しでも安全な場所に一時的に避難すること。

(6) 中止基準

- ・当該市町村において、午後5時時点で大雨に関する注意報が発表されている場合、もしくは大雨に関する注意報発表が予想される場合。
- ・当日、府内で震度4以上の地震が発生した場合。